

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	7		・配置基準は満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		・建物は古いが構造はバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		・職員全体会議において、目標設定と評価を実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7		・年に一回評価を実施し、寄せられた保護者の意見を職員で共有し、改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		・結果は事業所のホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	・第三者による外部評価は行われていない。 ・外部講師による勉強会や研修・学習をして、改善の努力はしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・時短職員を含め研修の機会もうけ人材育成を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		・アセスメント研修で得た知識をもとに個別の状態像を把握共有し、家族のニーズを取入れて支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	・標準化されたツールは使用していないが、アセスメントをし、利用者の状況理解に努めている。 ・ケース検討会等外部講師による勉強会をしながら導入を検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・担当職員が意見交換して提案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7		・子どもの自主的な取り組みもプログラムにとりいれながら、体験の幅が広がる工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		平日、休日、長期休暇におうじての活動を工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		・子どもの状況におうじた活動を計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		支援開始前には必ず打ち合わせを持ち確認をしている。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	・勤務時間の都合上、終了後は難しいので、翌日やその子が利用するまでに情報共有をし、次回の活動に生かしている。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		記録を、支援の検証・改善につなげている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・定期的なモニタリング及び必要に応じて家族からのモニタリングを実施している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	7		・複数組み合わせた支援を行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわし者が参画しているか	7		・児童発達管理責任者と担当職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7		・保護者の同意を得ながら、学校との情報共有、連絡調整をおこなっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	・現在は該当者がいない。今後受け入れるときは、しっかり連携していきたい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3	・これまで中高生メインで、今年度より小学生も受け入れているが、就学のタイミングで利用する方がいないため連携はなかった。今後該当する方がいたら、関係機関と連携し情報共有と相互理解に努めていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	移行支援会議に出席し情報の提供を行ってきた。これからも家族や事業所の要望に応え積極的に移行支援会議等に参加し情報の提供をしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		・専門機関との連携や、研修会等の参加を進めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	・希望者には、バザーのお手伝いで、交流の機会を設けた。長期の休みには外出を企画し交流を図った。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	5	・一部の職員の参加になっているので、参加したことのない職員への働きかけもしていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・子どもの状況はその都度口頭や連絡帳で伝え、保護者と状況や課題について共通理解を持つようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	・ペアレントトレーニングとしては行っていないが、面談や送迎時に相談等があった場合は検討し伝えている。また、その内容は記録として残して職員間で共有できるようにしている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・見学時や契約時に丁寧に行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・定期的な面談を行い悩みや相談に助言・支援を行っている。日々の相談にも速やかに対応している
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	・一部の保護者ではあったが、親子参加の芋煮会を開催し、保護者同士の情報交換や連携の機会を持つことが出来た。今後は、保護者会の内容・時期等を検討し参加者を増やしていきたい。
	③⑬	子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・相談やクレームの申し入れ窓口を掲示して明示し、迅速に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・事業所のお便りを毎月発行し、活動状況や行事の予定等を保護者に発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7		・職員研修を行い、家族に対しては契約時に、個人情報保護の説明を行い承認をえている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・個々の特性に応じた意思疎通の方法やコミュニケーションツールを工夫している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	・バザーを企画し、地域の児童センター・市民センター・商店等で事業所の広報活動を行った。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7		・マニュアルは、契約時に保護者に周知している。
	③⑲	非常災害発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・避難訓練・通報訓練を子ども・職員で行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・虐待防止についての研修を法人全体研修として取り組んでいる。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		・契約時に丁寧に身体拘束についての説明を保護者に行い、同意を得、支援計画に記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	7		・契約時に丁寧に聞き取り、特に配慮が必要な場合医師の指示に基づく対応をしている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	・ヒヤリハットを記録し、職員会議で共有している。